Takatori IR REPORT

NEXT GENERATION
60th 70th

第61期 株主通信

平成28年10月1日～平成29年9月30日

証券コード：6338

株式会社タカトリ
The Power of "T"
Technology Trust Teamwork

当社グループは、「創造と開拓」の社是と「世界に誇れる独自技術を製販一体となって構築し、最良の製品とサービスを提供し、人々の暮らしを豊かにする」の企業理念のもと、ユーザーニーズを先取りした新規特徴製品の開発、高精度・高品質を目指した高付加価値製品の開発及び将来成長が期待できる製品の創出を行う「開発先行型企業」を目指しており、平成29年4月には中国にて、当社が100%出資の子会社である高鳥（常熟）精密機械有限公司を設立し、今後同国での営業活動も積極的に進めていく所存でございます。

当連結会計年度の実績につきましては、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めた結果、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は共に2期連続の黒字となりました。

これもひとえに、株主様はじめ、関係者の皆様のご支援・ご尽力の賜物と心より御礼申し上げます。

翌連結会計年度におきましては、より高精細・低価格という顧客の要望に応えられますよう、常に原価力の強化を意識し、オリジナル製品の開発を引き続き行っていくと同時に、「世の中に無いモノを創る」ことを我々の企業価値と捉え、世界を舞台として挑戦し、常に時代に先駆け、お客様の多様化するニーズに、当社独自の技術でソリューションを提供してまいります。

代表取締役社長
増田　誠

また、中長期における経営戦略として、ますます厳しさを増すグローバル競争に勝ち抜くため、更なる原価力の強化を重要課題の一つとして位置づけ、中国での現地生産及び海外調達比率を高めることにより高収益体質づくりを推進し、売上・収益の向上を実現することで社会の発展に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

当連結会計年度における世界経済は、米国では企業の生産活動の回復に連動して企業収益が改善する中、設備投資が緩やかに持ち直し、景気回復基調が続いております。欧州においても、欧州中央銀行の金融緩和策や新興国・資源国の景気の持ち直しを受けた輸出増加や設備投資の拡大が下支えに作用し、ユーロ圏の景気は堅調な拡大が続いております。その一方、中国経済は安定成長を優先した当局の景気下支え政策等により安定成長を続けているものの、産業構造改革の影響を受け、景気は今後緩やかな減速に向かう見通しであります。

一方、わが国経済は、内需の伸びにより設備投資や省力化投資が活発化しており、景気は緩やかな回復基調の動きが見られるものの、設備投資は頂点に達しており、今後は調整局面に入り、減少に転じると見られ、依然として先行きに不透明感を抱えた状況にあります。

■ 売上高構成比

このような経済環境の中、当社グループが関わる電子部品業界においては、中国でのスマートフォン販売の減速を受けて電子部品需要は伸び悩みましたが、IoT、車載関連機器等の輸出拡大に牽引され、底堅い推移が続いております。

このような状況の中、電子機器事業では全体的に低調に推移いたしました。また、繊維機器事業につきましても低調に推移いたしました。

電子機器事業

液晶製造機器

液晶製造機器では、スマートフォン及びタブレット等の高機能端末市場が堅調であったものの、国内外の大手液晶パネルメーカー及びEMSメーカー（受託生産企業）が設備投資を先送りにしたことにより、小型液晶パネル用偏光板貼り付け機並びにその周辺機器の需要が低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

半導体製造機器

半導体製造機器では、MEMS関連電子部品メーカー向け量産装置、センサー向け量産装置、スマートフォン関連電子部品メーカー向け量産装置の需要が前年度の反動から低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

MWS（マルチワイヤーソー）

MWS（マルチワイヤーソー）では、LED関連及び車載、家電などのパワーデバイス市場が活発となり、北米及び欧州が好調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は増加いたしました。

繊維機器事業

繊維機器事業では、国内アパレル業界において設備の更新、増設が先送りされる状況が続いており、ものづくり補助金の採択量の減少も影響し、アパレル向けの裁断機の販売については低調に推移しました。一方、炭素繊維業界向けの裁断機並びに自動車業界向けの裁断機、産業部品向けの裁断機に関しては、新しい顧客向けの装置の出荷を始めております。また、縫製工場向けの自動縫製機器についても販売に移行できました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

医療機器事業

医療機器事業においては、前年度に厚生労働省より製造販売承認を取得した「胸腹水濾過濃縮装置T－CART」につきましては、臨床データを十分に集めるべき性格の製品と考えており、現在、販売先を限定し、市販後臨床調査をきわめて慎重に行っております。また、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）が推進する課題設定型産業技術開発費助成金（平成27年度中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業）を活用し、研究開発活動を行っておりましたが、本助成事業は、平成29年2月末日をもって完了いたしました。なお、従来の装置開発技術を活かし、特殊用途の医療機器製造装置を受注、販売いたしました。

※平成29年9月期より連結財務諸表を作成しており、平成28年9月期の数値は、参考値として個別業績の数値を記載しております。

連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	当期（連結）（平成29年9月30日現在）	前期（単体）（平成28年9月30日現在）
資産の部		
流動資産	5,518,764	5,330,406
固定資産	2,673,997	2,755,846
有形固定資産	2,274,152	2,390,417
無形固定資産	22,751	26,336
投資その他の資産	377,093	339,093
資産合計	8,192,762	8,086,252

（単位：千円）

科目	当期（連結）（平成29年9月30日現在）	前期（単体）（平成28年9月30日現在）
負債の部		
流動負債	2,973,338	2,998,634
固定負債	221,771	380,490
負債合計	3,195,109	3,379,125
純資産の部		
株主資本	4,958,399	4,689,311
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	2,660,189	2,391,101
自己株式	△17,342	△17,342
その他の包括利益累計額	39,253	17,816
純資産合計	4,997,652	4,707,127
負債純資産合計	8,192,762	8,086,252

連結損益計算書

（単位：千円）

科目	当期（連結）（平成28年10月 1 日から平成29年 9 月30日まで）	前期（単体）（平成27年10月 1 日から平成28年 9 月30日まで）
売上高	7,153,537	7,918,313
売上原価	5,513,344	6,190,389
売上総利益	1,640,192	1,727,923
販売費及び一般管理費	1,409,311	1,558,244
営業利益	230,880	169,679
営業外収益	118,715	179,669
営業外費用	12,070	13,912
経常利益	337,526	335,436
特別利益	799	7,291
特別損失	178	186
税金等調整前当期純利益	338,147	342,542
法人税、住民税及び事業税	36,966	3,742
法人税等調整額	△15,595	77,579
親会社株主に帰属する当期純利益	316,776	261,220

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当期（連結）（平成28年10月 1 日から平成29年 9 月30日まで）	前期（単体）（平成27年10月 1 日から平成28年 9 月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	384,778	998,883
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,617	175,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259,370	△456,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,922	△452
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	83,713	717,316
現金及び現金同等物の期首残高	2,326,949	1,609,632
現金及び現金同等物の期末残高	2,410,662	2,326,949

売上高

経常利益又は経常損失（△）

親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）

1株当たり当期純利益又は当期純損失（△）

総資産／純資産

研究開発費

平成29年10月2日

創立記念式典を開催いたしました。
第61期から新たな人事制度がスタートし、第62期においては教育制度を刷新し、人材育成の強化をはかり、強いモノづくり企業を目指します。

創立記念式典では、各事業部が目標を宣言し、達成祈願として達磨の目入れを行いました。

NEXT GENERATION
60ちゃん 70ちゃん

平成29年11月現在

当社の中国子会社である「高鳥(常熟)精密機械有限公司」の工場建設がスタートしました。工場完成は平成29年12月を予定しております。
今後、中国市場での事業拡大を目指します。

平成29年9月

東京ビッグサイトで開催されました、"エヌプラス"『炭素繊維加工・活用技術展』に出展いたしました。当社の最新型裁断機(TACシリーズ)の実機展示を行いました。

株式の状況（平成29年9月30日現在）

- 発行可能株式総数　17,000,000株
- 発行済株式の総数　5,491,490株
- 株主数　2,282名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
㈲コトブキ産業	375	6.88
タカトリ共栄会	344	6.30
水谷量材	200	3.66
西村幸子	189	3.47
大阪中小企業投資育成㈱	187	3.43
仙波周子	179	3.28
高鳥政廣	168	3.09
岡島恵子	167	3.07
タカトリ従業員持株会	133	2.44
㈱南都銀行	95	1.74

（注）持株比率は自己株式（31,092株）を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況

所有者別株主数分布状況

会社概要（平成29年9月30日現在）

商号	株式会社タカトリ
本社	奈良県橿原市新堂町313番地の1 TEL.0744-24-8580　FAX.0744-24-6616
子会社	高鳥（常熟）精密機械有限公司 中国/江蘇省常熟市碧渓新区東張万盛路35号1棟
関連会社	株式会社エムテーシー 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-705-1
営業所	九州営業所　熊本県合志市幾久富1909-539
設立	昭和31年10月
資本金	963,230千円
代表者	代表取締役社長　増田　誠 代表取締役副社長　松田　武晴
従業員	212名（グループ従業員数215名）
事業内容	電子部品製造機器の製造及び販売、繊維機械の製造及び販売、医療機器の開発

役員（平成29年12月22日現在）

代表取締役社長	増田　誠
代表取締役副社長	松田　武晴
取締役	出口　昌道
取締役	岡島　史幸
取締役	森嶋　一喜
取締役（社外）	川村　真
常勤監査役	大島　章良
監査役（社外）	山田　磯子
監査役（社外）	大西　大介

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会　9月30日 剰余金の配当　期末9月30日 中間3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL　0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告とする。 当社ホームページ（http://www.takatori-g.co.jp） ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

http://www.takatori-g.co.jp

Facebookのご案内

平成28年5月10日より、
タカトリ公式Facebookページを
開設いたしました。

株式会社タカトリ
The Power of "T"
Technology Trust Teamwork

奈良県橿原市新堂町313番地の1